

議事（1）

本市における 新型コロナウイルス感染症対策について

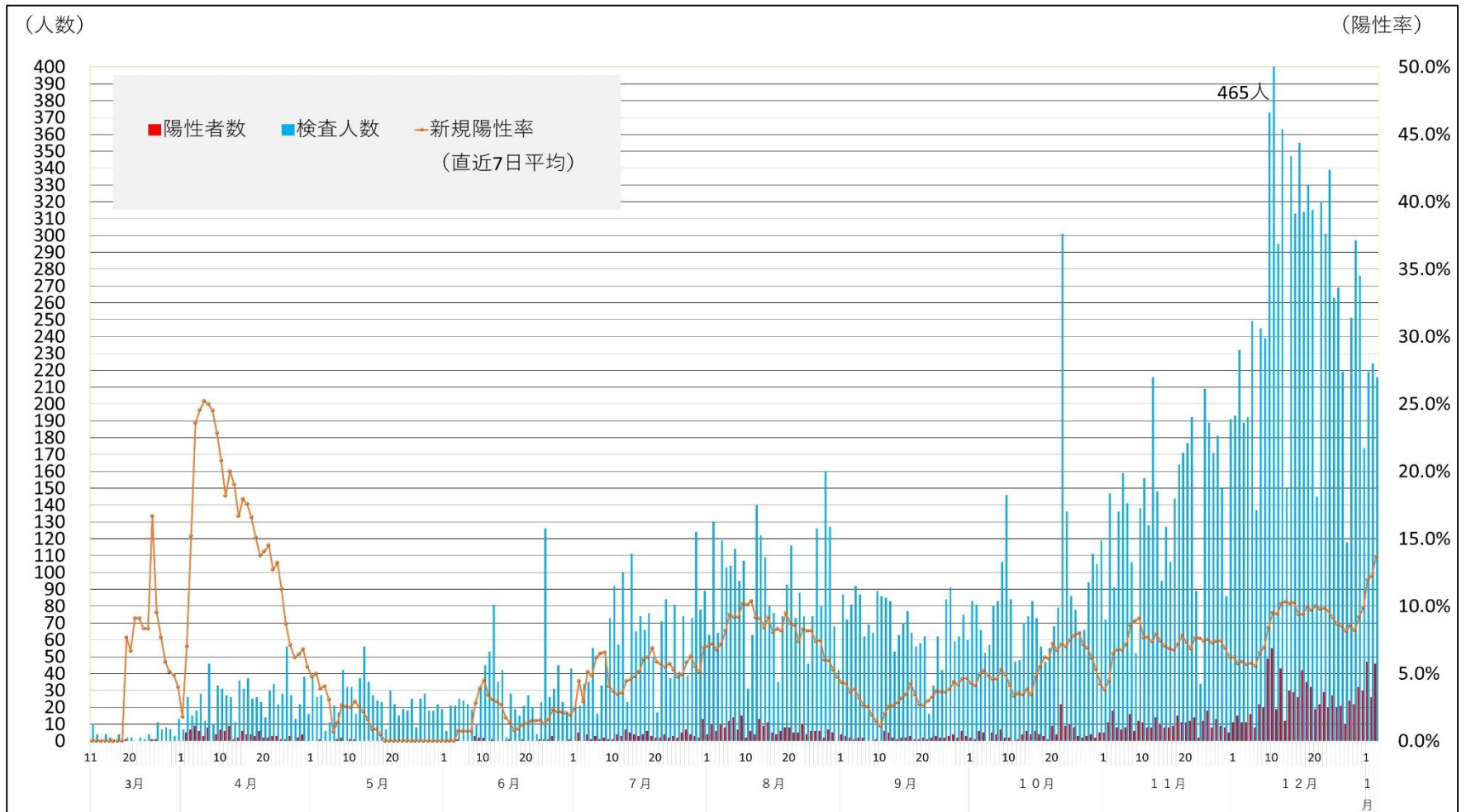
新型コロナウイルス感染症対策保健所本部

1. 陽性者数等の推移

データでみる
船橋市の現状

1. 陽性者数等の推移

PCR検査数(日別)・新規陽性者数(日別)・新規陽性率(直近7日間平均)



※令和2年3月11日～令和3年1月3日(日付は結果判明日)

1. 陽性者数等の推移

PCR検査数(日別)・新規陽性者数(日別)・新規陽性率(直近7日間平均)

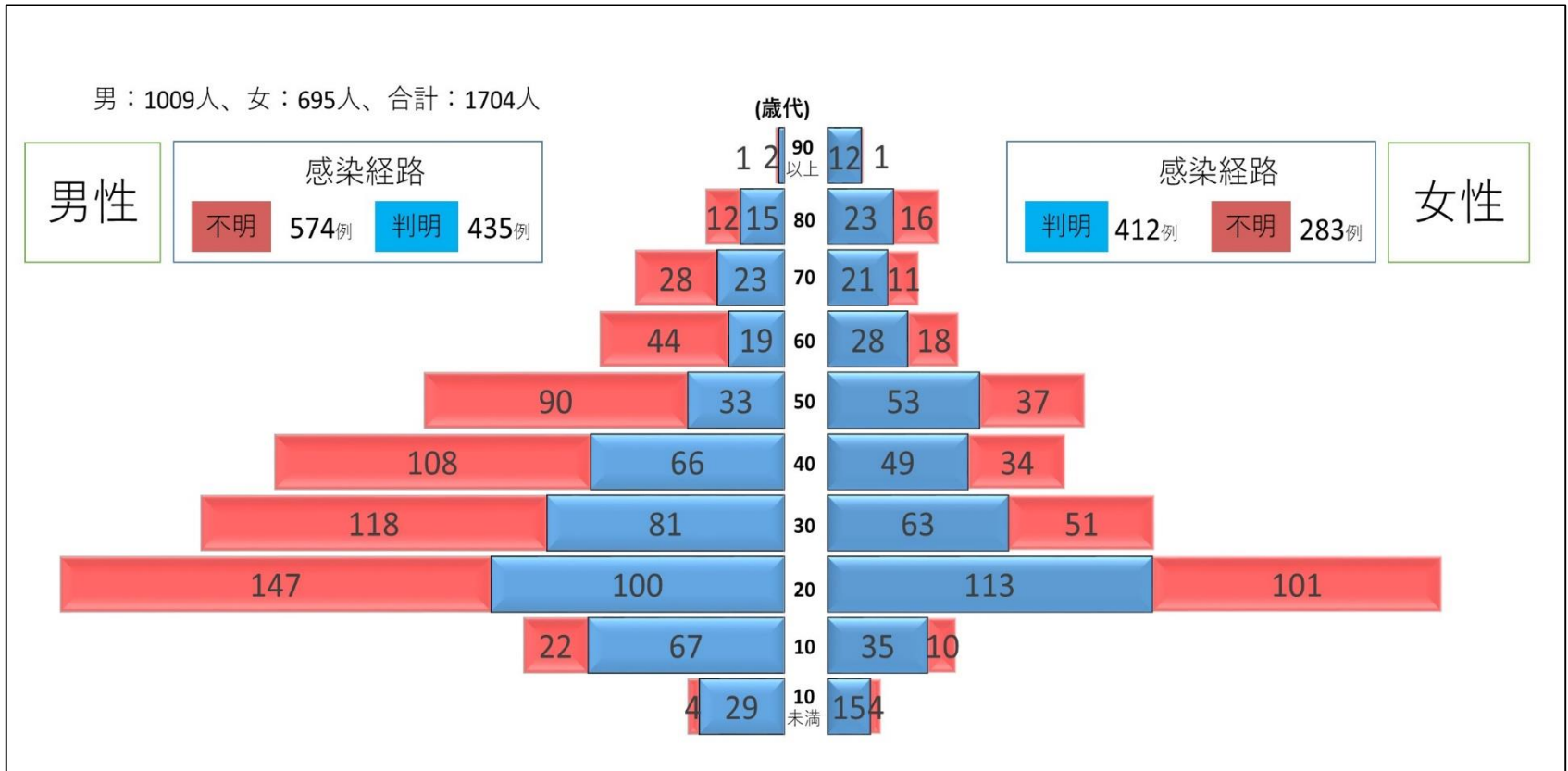
	現在(12月実績)	参考
検査数	8, 268人 (累計24,337人)	○最大(12月) 8, 268人 ○1日平均(12月) 約267人
新規陽性者数	762人 (累計1,741人)	○最大(12月) 762人 ○1日平均(12月) 約25人
新規陽性率 (直近7日間平均)	9.9%	○最大(4月6日時点) 25.2%

令和3年1月以降も拡大。1月1日～11日までに500人以上の新規患者を確認(市居住患者)

※上記は市保健所及び市内医療機関の検査実績及び陽性者数等

1. 陽性者数等の推移

年代別・男女別陽性者数

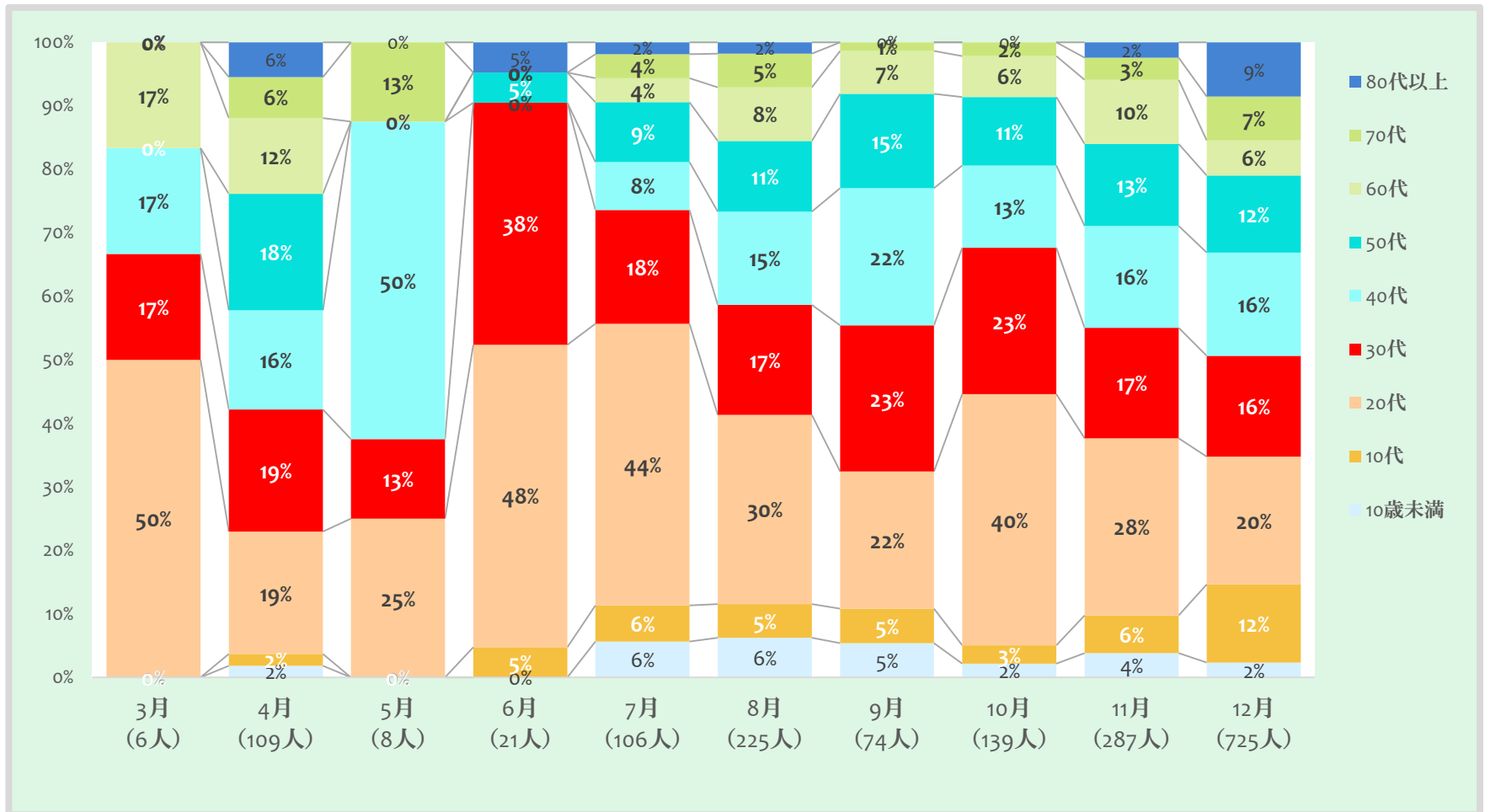


※令和3年1月3日時点。

※上記は船橋市居住患者。年代や性別の公表に同意が得られない例は集計対象から除く。

1. 陽性者数等の推移

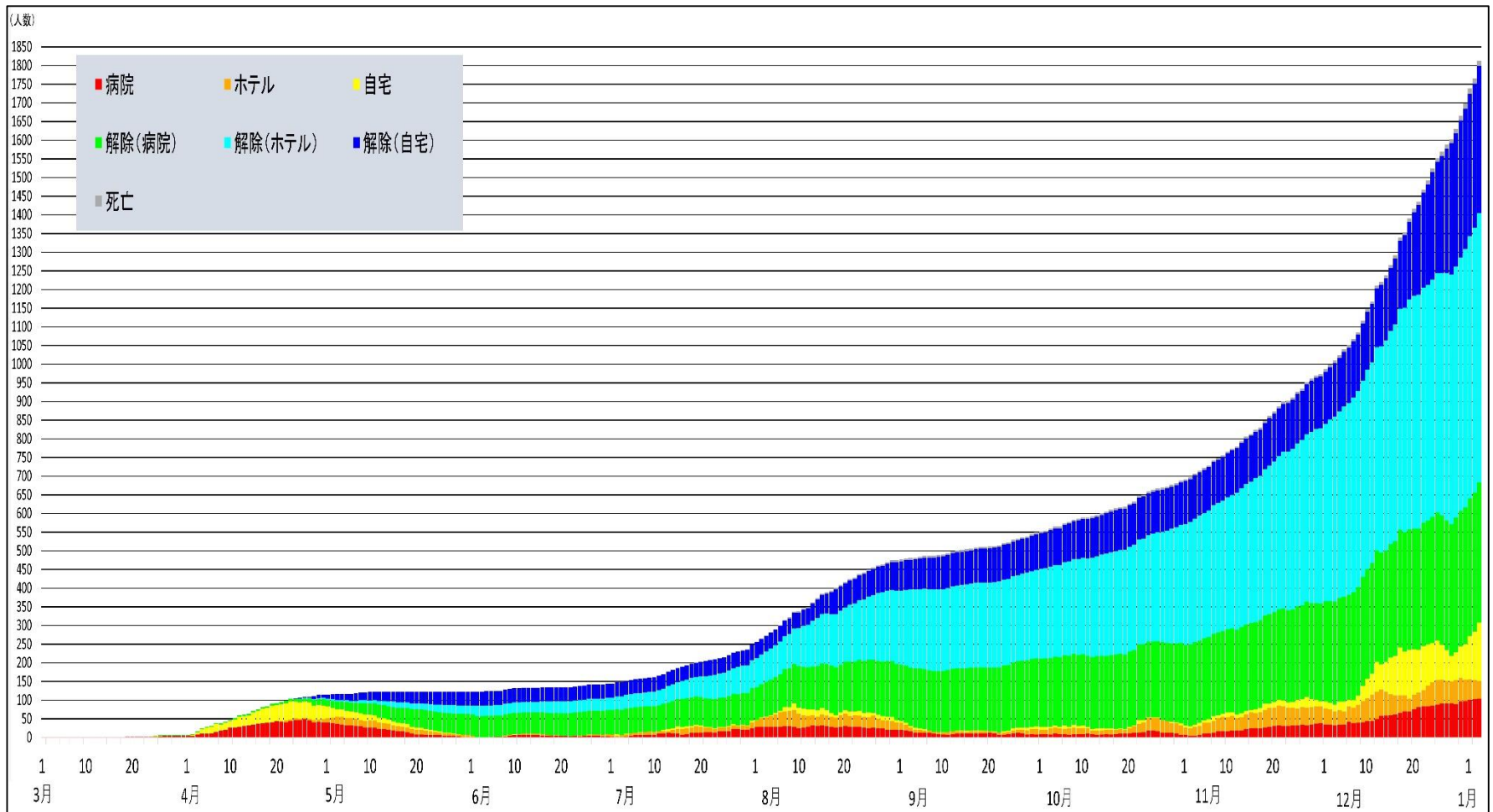
年代別の陽性者割合(月別)



※上記は船橋市居住患者

1. 陽性者数等の推移

療養者数・回復者数推移



※令和3年1月3日時点。
※上記は船橋市居住患者。

1. 陽性者数等の推移

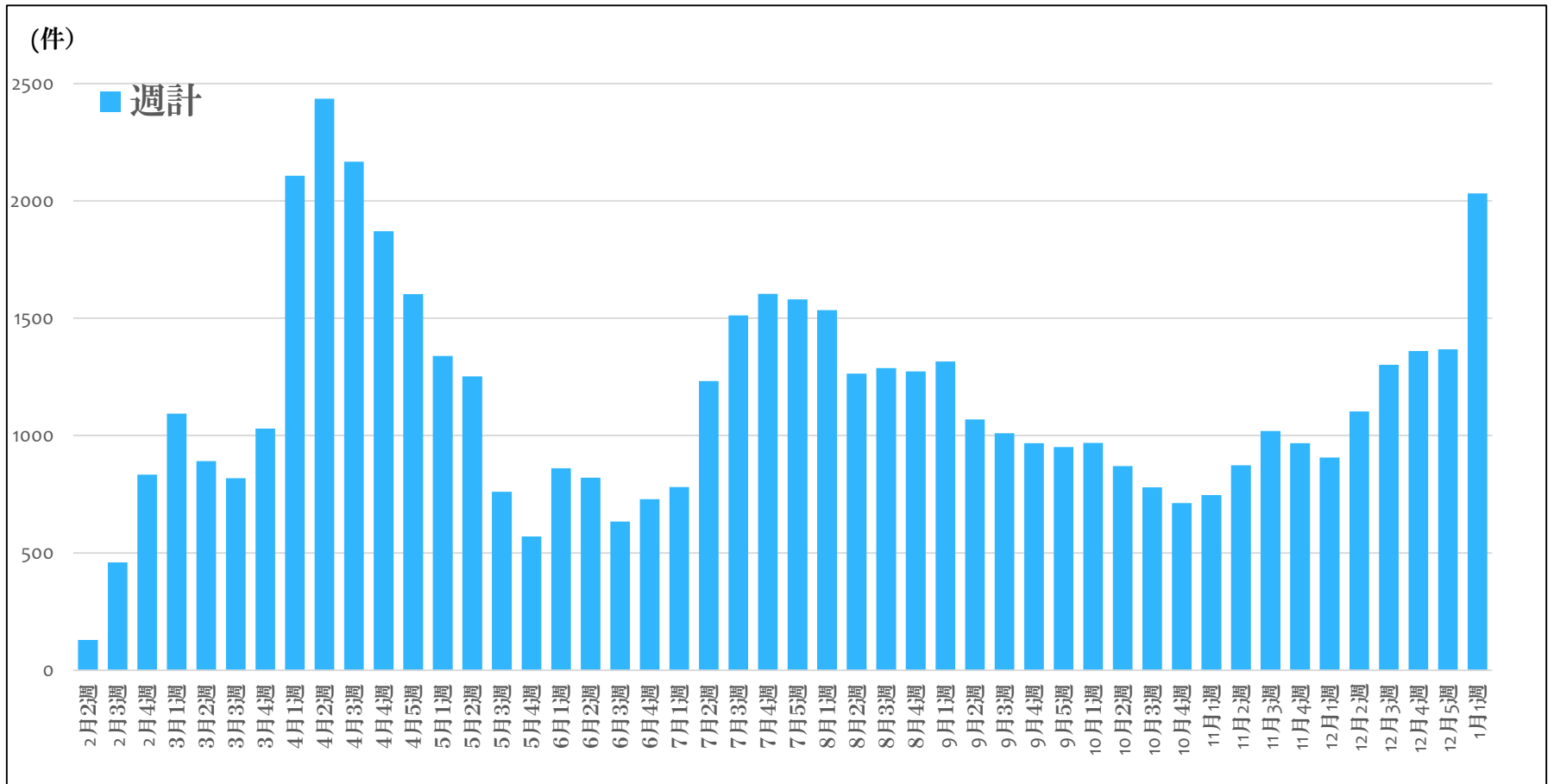
療養者数・回復者数推移

療養場所	現在(12月末時点)	参考
入院	98人	○最大(12月31日) 98人 ○1日平均(12月) 約63人
ホテル	55人	○最大(12月12日) 77人 ○1日平均(12月) 約54人
自宅	95人	○最大(12月19日) 131人 ○1日平均(12月) 約74人

※12月末までの回復者計918人、死亡計15人

1. 陽性者数等の推移

相談件数の推移



※令和3年1月3日までの1週間毎の件数。

1. 陽性者数等の推移

相談件数

	現在(12月)	参考
1か月	5, 3 9 9 件	○最大 (4月) 9, 0 0 0 件以上 ○1か月平均 (3月~12月) 約 5, 0 0 0 件
1日あたり	約 1 7 4 件	○最大 (4月) 3 0 0 件以上 ○1日平均 (3月~12月) 約 1 6 7 件

年末年始・令和3年1月以降も相談件数が急増。
1日あたり:年末年始約220件、1月4日以降300件以上。

2.本市の主な取り組み等

船橋市保健所の 主な取り組み等

2.市保健所の主な取り組み等

-1月-

- **16日**
国内で初めて感染症患者を確認

保健総務課による対応

- **24・25日**
市ホームページで情報発信を開始
市民からの問い合わせ対応開始

- **29日**
船橋市医師会に「新型コロナウイルス肺炎に係る対応について」を依頼

2.市保健所の主な取り組み等

-2月-

- 3日 「対策本部会議」※の設置
- 5日 「相談センター」※の設置
(段階的に人員・回線数・開設時間を拡充)

保健所全体による対応に移行(専従体制構築、保健所大会議室)

- 26日 「対策保健所本部」※の設置
- 27日・28日
 - ・ 公共施設を臨時休館とする決定
 - ・ 市立学校を臨時休業とする決定

上記※部分の正式名称は、先頭に「船橋市新型コロナウイルス感染症」と入る。

2.市保健所の主な取り組み等

相談センター

2月5日：「新型コロナウイルス感染症専用相談窓口」を設置

7日：改称「船橋市新型コロナウイルス感染症相談センター」に

21日：回線数を3回線 → 5回線
※4月には最多10回線に

28日：開設時間を9時～17時
→ 8時～20時に

現在：7回線。9時～19時
(土日祝休17時まで)



2.市保健所の主な取り組み等

対策保健所本部(「新型コロナウイルス感染症対策保健所本部」)

2月26日：本部を設置（専従職員16人体制。保健所大会議室）

3月11日：他部局からの応援体制拡充。16人→70人以上

4月・5月：相談体制拡充やホテル療養対応で最大230人以上

～以降感染状況により、柔軟に人員体制を確保

9月1日：体制を見直し、市の新たな組織として位置づけ。専任職員約180人



2.市保健所の主な取り組み等

対策保健所本部(主な業務)

相談

- 健康不安・検査希望等の相談・問い合わせ対応

病院調整・搬送

- 検体採取医療機関の調整
- 検体・患者の運搬搬送

検査

- ドライブスルー方式の運営
- 検体の検査

疫学調査

- 陽性患者の行動調査
- 健康管理

療養場所調整

- 医療機関・ホテル療養の調整

ホテル運営

- ホテル確保
- 療養者支援

広報


- 陽性者情報の発信
- 予防策の啓発
- データ分析

クラスター対応

- 各施設へのクラスター予防
- 発生時の対応

2.市保健所の主な取り組み等

-3月-

- 
- 1日 市内1例目の患者を確認
 - 3日 医療機関へのマスク配付を開始
 - 11日
 - ・市備蓄マスクの医療機関、高齢者施設等への最優先配布を決定（医療を守ることを最優先）
 - ・市保健所でPCR検査を開始
 - 12日 高齢者・障害者関係施設、保育所にマスクを配付
 - 27日 北総育成園（東庄町）での感染者が判明
 - 28日 県知事からの土日の外出自粛要請

2.市保健所の主な取り組み等

市備蓄マスク・ガウン等の配布

市対策本部会議において、市備蓄マスクの医療機関、高齢者施設等への最優先配布を決定（医療を守ることを最優先）

【配付実績】

- マスク（サージカル・N95等）

3月末までに市内医療機関に計25万枚以上。 累計約50万枚

- ガウン（アイソレーション・サージカル・ポンチョ等）

3月末までに市内医療機関に計2,700着以上。 累計2万7千着以上

- その他

手指消毒薬、フェイスシールドなど

2.市保健所の主な取り組み等

PCR検査体制

市医師会協力の下、市内7病院で検体採取体制を確保
(帰国者・接触者外来の設置)

市での検査体制の確保を目指し、早期に国へ要望。「検査用試薬（プライマー・プローブとポジティブコントロール）」の提供を受け準備を進める。

3月11日：市保健所でPCR検査開始（従来は千葉県衛生研究所にて検査）
※当初10人程度 → 1日最大248人（10月）

4月21日：PCR検査外来（ドライブスルー方式）開始

6月10日：市内医療機関で保険診療として検体採取が可能に ※1月5日現在、84医療機関が契約

8月1日：分娩前PCR検査開始

11月27日：民間検査機関での検査体制確保（最大800人程度）

12月1日：高齢者施設等の新規入所者へのPCR検査開始

2.市保健所の主な取り組み等

帰国者・接触者外来、病床確保に向けた取り組み

市と市医師会は、**新型インフルエンザ対応の経験**を生かし、これまでも**訓練等を通じ体制整備**を図ってきた。そのため、**外来診療・病床確保・ホテルへの医療提供体制**など、**速やかな体制整備**を実施。

1. 病院実動訓練
新型インフル患者の**外来診療の実施訓練**を実施（毎年1病院ずつ）
2. 空床状況病院連絡訓練
空床情報の共有を図るため、机上訓練を実施
3. 帰国者・接触者外来協力医療機関連携会議
迅速な連携を図れるよう連絡体制の整備し、連携会議を実施
4. 研修会の実施
新型インフル等対策**研修会**を実施
5. 医療体制整備、集団予防接種等の検討
各会※において、医療体制整備、ワクチン住民接種体制等、**新型インフル発生に備えた備蓄等**について検討 ※船橋市医師会新興再興感染症等対策委員会（年3～4回）、船橋市地域医療専門部会

2.市保健所の主な取り組み等

北総育成園(東庄町)に関する対応

3月27・28日：職員・利用者計57人が陽性。クラスター（感染者集団）
※最終的には計100人

3月31日：現地に対策本部を設置（国・県・船橋市）

船橋市は、継続的な支援を実施

- 人的支援：保健師・看護師・事務を派遣
- 物的支援：ガウン・ゴーグル・マスク・手袋・消毒液、携帯電話等を約20回にわたり搬入

5月13日：全員の陰性化を確認

6月4日：クラスターの終息を公表

7月15日：事例報告会の実施（事業所への啓発）



2.市保健所の主な取り組み等

-4月～6月-

4/7

緊急事態宣言

- 21日 市医師会協力の下、PCR検査外来（ドライブスルー方式）開始
- 23日 市内100例目の患者を確認
- 30日 船橋第一ホテルにて軽症・無症状者受け入れ開始
(市医師会との契約により推薦を受けた板倉病院が医療提供)

5/25

解除

- 6月4日 24日ぶりに患者を確認

2.市保健所の主な取り組み等

船橋第一ホテルの開所

4月30日：船橋第一ホテルを借り上げ**軽症者・無症状者**の受け入れ開始。
リスクが高い人や重症者への医療提供体制を守るため。

○ホテルの医療体制

市医師会の推薦を受けた**板倉病院が医療を提供する体制**（24時間体制）

延受診件数 **1,002件**※（入所時、体調不良時、退所時）

○入所・退所実績

延入所数 **822人**※　うち38人は病院からの受入
最大入所数 **77人**（12/12）


延退所数 **767人**※



※数字は12月末時点の実績

2.市保健所の主な取り組み等

-7月-

- 
- **7月5日・10日**
感染者の発生した市立小学校を臨時休校
全保護者向けに感染防止に関する文書を通知
(家庭内感染の防止を啓発)
 - **7月7日**
市内1例目の死亡を確認
 - **7月17日**
「接待を伴う飲食店」・「カラオケ」店舗等への
感染対策の注意喚起

2.市保健所の主な取り組み等

飲食店等への注意喚起

7月17日：「接待を伴う飲食店」・「カラオケ」店舗等へ注意喚起の文書とチェックリストを送付。400店舗以上

随 時：飲食店への立ち入り検査の際には、感染対策を個別に助言



新型コロナウイルス感染拡大防止チェックリスト

I. 居酒屋、レストラン・料理店等

居酒屋、レストラン・料理店等における新型コロナウイルス感染症対策として、実施すべき取り組みをまとめましたのでご活用ください。
新型コロナウイルスの主な感染経路である接触感染及び飛沫感染を回避するため、飲食時以外はマスクの着用を徹底してください
また、飲食の際には食事に集中し、会話は控えるよう周知しましょう

各業態に共通する感染拡大防止対策

1.利用者・従業員の体調管理

- 従業員に出勤前に検温や体調確認をさせ、毎日報告させている
- 体調不良の従業員に休養を促し、勤務中に体調不良になった者はただちに帰宅させている
- 利用者で熱がある者は入場をご遠慮いただくようお願いするなどの取組みを実施している
- 所轄の保健所の確認や利用者の把握など、感染者等の発生に備えた取組みを実施している

2.市保健所の主な取り組み等

-8月～10月-

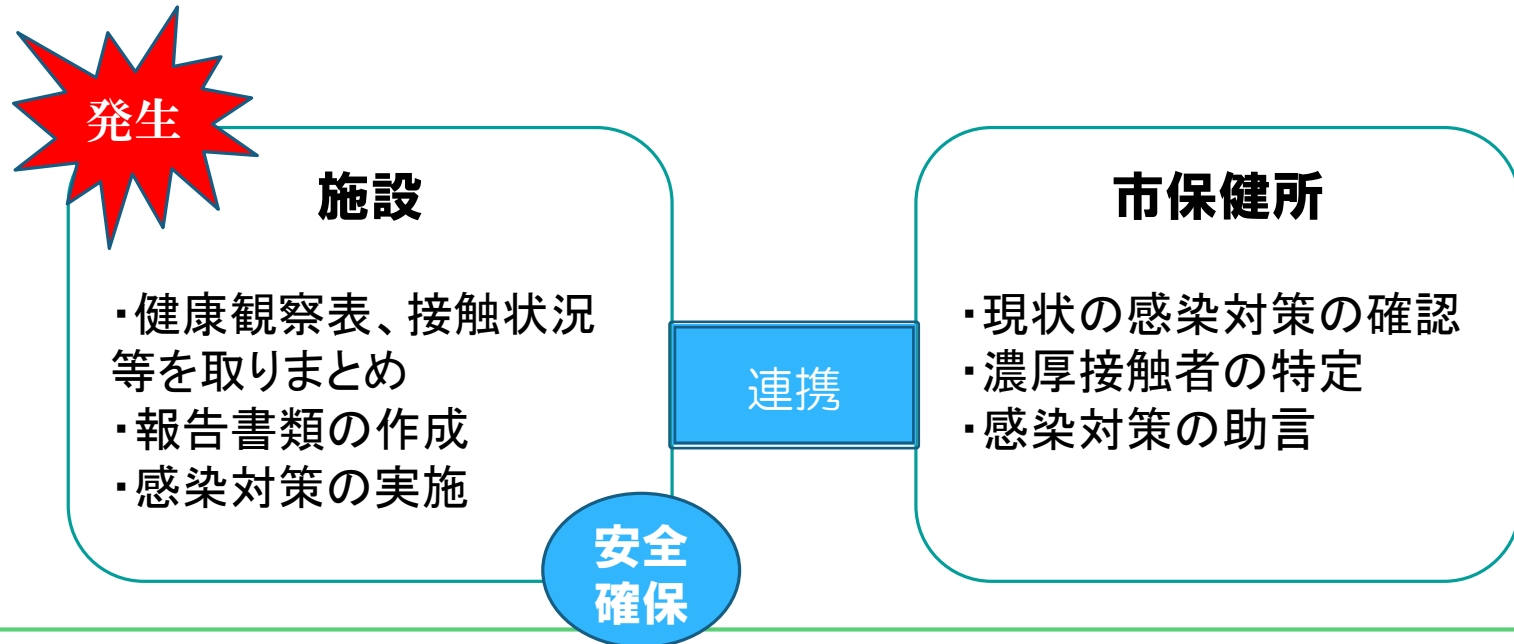
- 8月3日 市立リハビリテーション病院でクラスター（感染者集団）を確認
- 8月10日 市内保育園でクラスター（感染者集団）を確認
- 9月13日 市内500例目の患者を確認
- 10月5日
陽性者発生時シミュレーション訓練を実施開始（市内事業所）
- 10月23日 市内事業所でクラスター（感染者集団）を確認
- 10月29日 シトラスリボンプロジェクトの周知開始

2.市保健所の主な取り組み等

陽性者発生時シミュレーション訓練


対象：市内高齢者・障害者福祉サービス施設 27施設

概要：職員や利用者が感染した場合を想定し、施設と市保健所とで連携して対応。



2.市保健所の主な取り組み等

-11月~12月-

- 
- **11月5日・6日**
市内事業所でクラスター（感染者集団）を確認
 - **11月5日**
クラスター防止のため、同種事業所等へ注意喚起
※外国人向けの注意喚起を兼ねる
 - **11月11日**
市内県立高等学校でクラスター（感染者集団）を確認
 - **12月1日**
ワクチン接種班の設置（対策保健所本部）

2.市保健所の主な取り組み等

ワクチン接種の準備体制

12月1日：ワクチンの速やかな接種を可能とするため、保健所本部内に「**ワクチン接種班**」を設置。



必要な業務及びこれに係る予算などについて、検討を行っている。

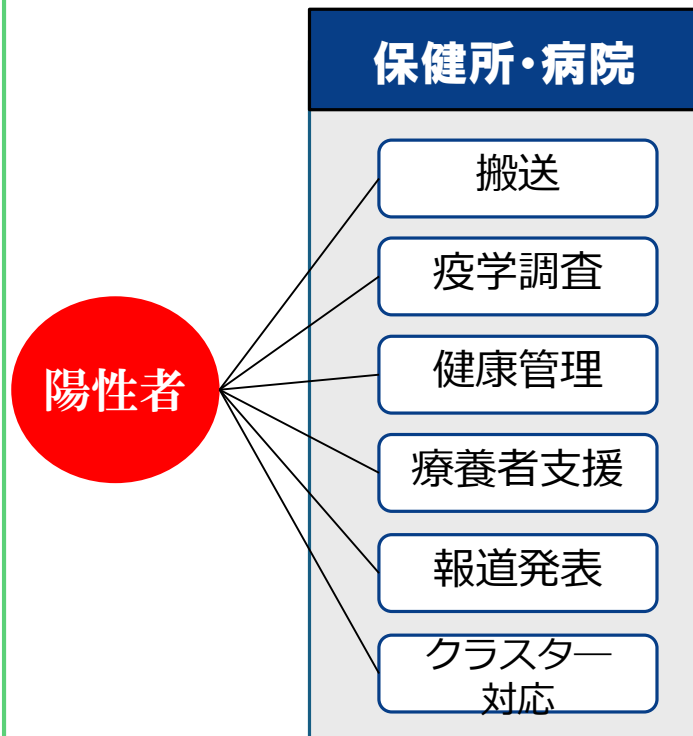
- ・ 接種実施体制の検討
※2009年の「新型インフルエンザ発生時」の経験を踏まえ
- ・ 相談受付体制の確保
- ・ 市民向け通知、システム整備 等

3.おわりに

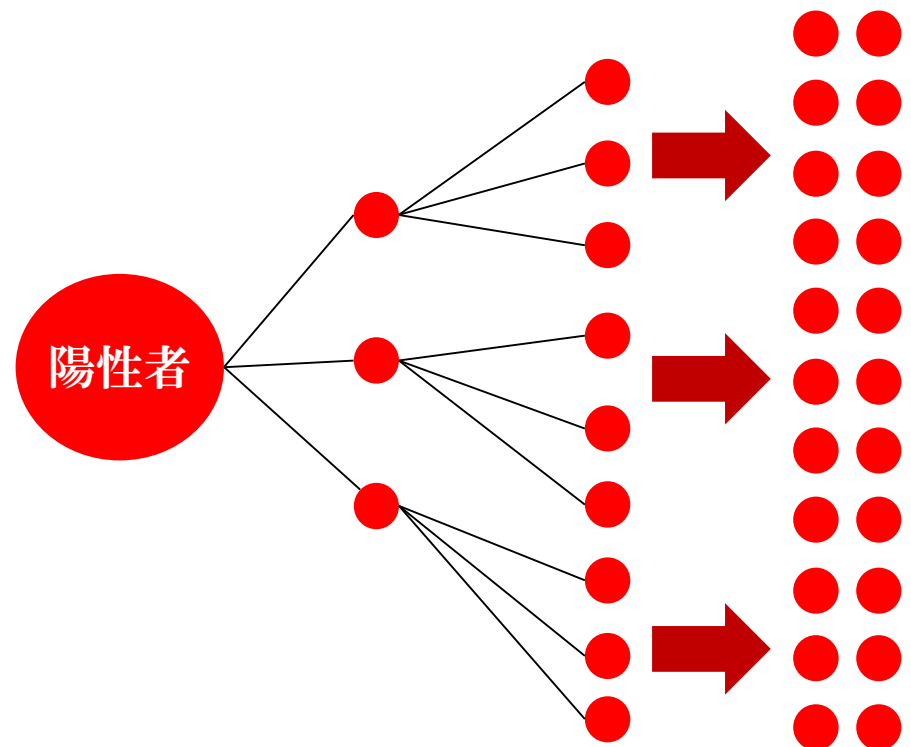
感染拡大の防止に
向けて

感染拡大による保健所・病院の業務負担

陽性者1人に必要な対応



感染拡大による負担増大・逼迫



3.おわりに

高齢者や基礎疾患を持つ方への感染防止・医療提供体制の確保

市は、医療提供できるように体制を整備

30歳代と比較した場合の各年代の重症化率

年代	10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳代	90歳以上
重症化率	0.5倍	0.2倍	0.3倍	1倍	4倍	10倍	25倍	47倍	71倍	78倍

※「重症化率」は、新型コロナウイルス感染症と診断された症例（無症状を含む）のうち、集中治療室での治療や人工呼吸器等による治療を行った症例数と算出した症例の割合。

重症化リスクとなる基礎疾患

慢性腎臓病

慢性閉塞性肺疾患
(COPD)

糖尿病

高血圧

心血管疾患

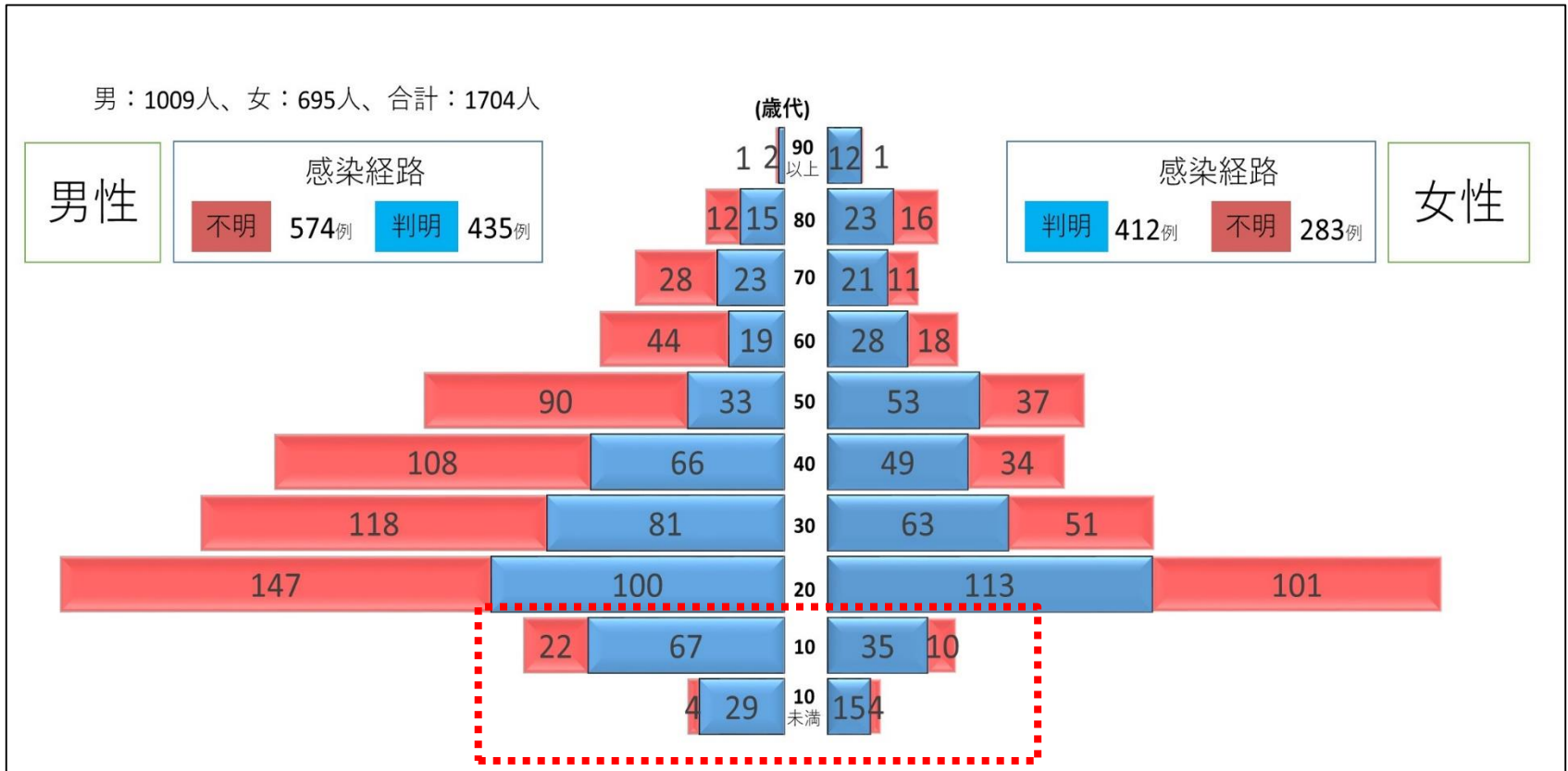
肥満 (BMI 30以上)

※妊婦、喫煙歴なども重症化しやすいかは明らかでないが注意が必要。

※厚生労働省「新型コロナウイルス感染症の”いま”についての10の知識」を基に加工

3.おわりに

インフルエンザとは異なる感染経路



※上記は船橋市居住患者。年代や性別の公表に同意が得られない例は集計対象から除く。

インフルエンザとは異なる感染経路

男：100%

男性

- ・ **子ども**の感染は他の年代と比較し**少ない**
- ・ **子ども**への感染経路はほとんどが**家庭内**である
- ・ **大人が感染** → **家庭に持ち帰る** → **広める**
(インフルエンザとは傾向が逆。インフルエンザは、子どもから大人に移すケースが多い)
- ・ 感染拡大を防止するためには、特に「**大人が感染リスクが高い行動をとらないこと**」が重要

女性



※上記は船橋市居住患者。年代や性別の公表に同意が得られない例は集計対象から除く。

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の間でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

